



文化財保護センターだより

財団法人 岐阜県文化財保護センター

<http://www.smile.pref.gifu.jp/maibun>

三田洞本部

〒502-0003 岐阜県岐阜市三田洞東1-26-1
Tel.058-237-8550(代) Fax.058-237-8551
E-mail: maibun@smile.pref.gifu.jp

飛騨出張所

〒509-4122 岐阜県吉城郡国府町名張宇峠1425-1
Tel.0577-72-4784 Fax.0577-72-4690
E-mail: hida@smile.pref.gifu.jp

平成13年
7月1日

第31号

も く じ

表紙	温泉の街を見下ろす遺跡……………1	センターだより	飛騨出張所・野村忠夫文庫……………6
トピックス	上ヶ平遺跡の丸と四角……………2		お知らせ・センター日誌・あとがき……………7
組織等	平成13年度の組織・調査事業計画……………3	センターニュース	県博物館に展示コーナー開設……………8
クローズアップ	出土品は語る……………4・5		発掘速報展

温泉の街を見下ろす遺跡

う え が ひ ら
～上ヶ平遺跡～



また、益田郡下呂町の高台に、温泉街を見下ろす上ヶ平遺跡があります。発掘調査は、昨年度終了しました。7,000㎡の調査区域から見つかった住居跡は、今から9,000～8,000年前の縄文時代早期のものと、1,600～900年前の古代のものが合計55軒を数え、南飛騨最大の集落遺跡となりました。写真は、発掘調査風景です。中央では四角い形の古代の住居跡を掘り進めています。右手前の人柱穴と見られる穴を図面に記録しているところです。

益田郡下呂町



益田郡下呂町森
うらがひら
上ヶ平遺跡

上ヶ平遺跡の丸と四角 9,000年前 VS 1,500年前

調査が進み土を掘り下げていくと、地山の赤土の中から下の写真のような黒っぽい土の丸や四角が出現します。



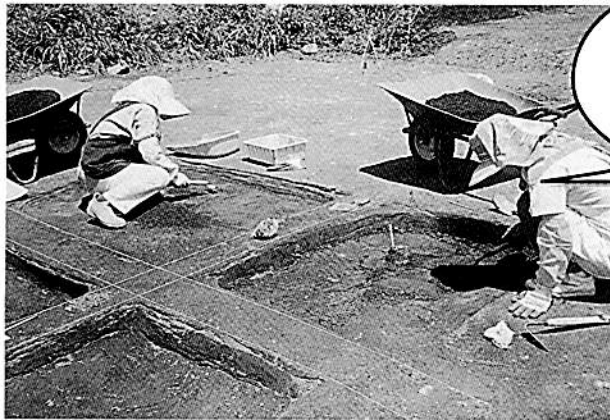
こちらは直径3.5m。
9,000年前の縄文時代
早期の住居跡です。



こちらは一辺3m。
1,500年前の古墳時代
の住居跡です。

●なぜ黒く残るの？

竪穴住居は縄文時代や古墳時代、平安時代にも造られ利用されました。地面を掘り込んで建てられるため、住居が使われなくなると長い年月を経て周りから土が入り込みます。その結果、写真のように黒く残るのです。



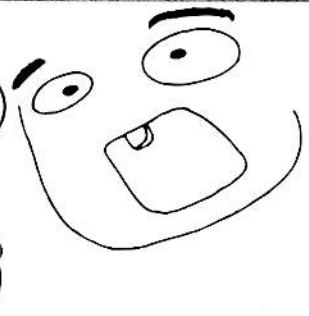
土のようすを調べる
ために、住居跡を四
つに分割して慎重に
掘っていきます。



顔みたい？

上ヶ平遺跡の場合、数千年の間を隔てる土の重なりが薄かったため、9,000年前の住居跡と1,500年前の住居跡の地表からの深さがあまり変わりません。写真右上の住居跡では、古墳時代の住居の真下から縄文時代早期の住居が発見されました。

前歯じゃなくて
カマドだよ！



下呂といえば
下呂石！



下呂温泉の熱源になっていることで知られる湯ヶ峰は、10万年前に爆発した火山で下呂の町中からも見えます。頂上付近には、全国でここでしか産出しない下呂石（湯ヶ峰流紋岩）が露出しています。下呂石は縄文時代を中心に各地に持ち運ばれ、やじりなどの石器の材料として使われました。飛騨地区だけでなく北陸・東海地方、長野県、遠くは群馬県まで運ばれ使われたことがわかっています。上ヶ平遺跡は湯ヶ峰から2.5kmと近いので、運ばれてきた下呂石の原石がたくさん出土しています。

平成13年度の組織 (平成13年6月現在)

役員

会 長	梶原 拓 (岐阜県知事)
副 会 長	大野 慎一 (岐阜県副知事)
理 事 長	服部 卓郎
専務理事	成戸 宏二
常務理事	福田 安昭 (岐阜県教育委員会事務局参事)
理 事	土野 守 (岐阜県市長会会長)
理 事	田中 幸雄 (岐阜県町村会会長)
理 事	安藤 征治 (岐阜県都市教育長会会長)
理 事	平野 敬 (岐阜県町村教育長会会長)
理 事	八賀 晋 (岐阜県文化財保護審議会委員)
理 事	今城 松枝 (人権擁護委員)
理 事	加藤 彰子 (揖斐郡大野町文化財審議会委員)
理 事	平井 花画 (岐阜県ユネスコ協会会長)
理 事	澤田 哲郎 (岐阜県基盤整備部参事)
理 事	薫田大二郎 (岐阜県地域県民部事業経営局長)
理 事	日比 治男 (岐阜県教育長)
監 事	棚瀬 文晴 (岐阜県地域県民部参与)
監 事	馬淵 道斌 (岐阜県副出納長兼出納事務局長)

職員

理 事 長	服部 卓郎
専務理事兼事務局 長	成戸 宏二
常務理事兼経営部長	福田 安昭
経営部 次長兼経営課長	福田 照行
経営課 課長補佐	木野村 弘
主 査	青木 陽輔・中島ゆかり
事務補助	山下真奈美・河村佳寿美
調査部 部 長	武藤 貞昭
次 長	片桐 隆彦
第1課 課 長	柘植 卓伸
課長補佐	堀 真・伊藤 利巳・野村 元次
学芸主事	澤村雄一郎・小野木 学・三浦 徹大
三島 誠	
第2課 課 長	坂東 肇
課長補佐	富田 雅之・藤岡比呂志・近藤 聡
林 芳樹	
学芸主事	春日井 恒・三輪 晃三・古屋 寿彦
長谷川幸志	
第3課 課長心得	高木 徳彦
課長補佐	鈴木 隆雄・早野 壽人・鶴岡 高男
笹木 幸司・村瀬 泰啓・浅野 哲男	
松岡 千年	
学芸主事	近藤 大興・安田 正枝
事務補助	木野村明美
飛驒出張所 所 長	上原 真昭
課長補佐	森下 茂司・谷口 陽一・八賀 哲夫
学芸主事	竹本 哲行・大宮 次郎・小淵 忠司
主 任	坂田 肇
事務補助	政井 美子

平成13年度の調査事業計画

事業名	事業者名	調査地	遺跡名	時代等
東海環状自動車道(関~美濃加茂)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査	国土交通省 岐阜国道工事事務所	関市・美濃市 富加町 美濃加茂市	○重竹遺跡他 後平茶臼古墳他 富田清友遺跡 佐口遺跡 針田遺跡他	古代、中世の集落跡、中世の水田・畝状遺構 弥生・古墳時代の集落跡、古墳 縄文・古墳時代の集落跡 縄文時代の陸道付炉穴 古代・中世の集落跡 古代・中世の集落跡
東海環状自動車道(八百津~笠原)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査	国土交通省 多治見工事事務所	可児市・ 御嵩町	○柿田遺跡	弥生~中世の集落跡、旧河道・溝跡、堰、 糸車型水田跡
一般国道21号可児御嵩バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査		土岐市 御嵩町	○土岐口西山3号古窯跡 金ヶ崎遺跡他	中世の古窯跡 弥生末~古墳時代の方形周溝墓、横穴墓
一般国道21号可児御嵩バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査		御嵩町	○上恵土城跡他	中世・近世の集落跡
中部縦貫自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査	国土交通省 高山国道工事事務所	清見村 高山市	○上岩野遺跡 ○ウバガ平遺跡他	縄文時代の集落跡 縄文~古墳時代、平安時代の集落跡
徳山ダム建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査	水資源開発公団 徳山ダム建設所	藤橋村	○塚奥山遺跡 ○寺平遺跡 ○橋原神向遺跡・いじま遺跡 徳山陣屋跡	縄文時代の集落跡 平安時代の社寺跡 縄文時代の遺物散布地 中世の建物跡
関テクノハイランド開発事業に伴う埋蔵文化財発掘調査	岐阜県 土地開発公社	関市	深橋前遺跡他 南青柳遺跡他	弥生・古墳時代の集落跡、平安時代の古窯跡 弥生・古墳時代の集落跡、古墳、古代の祭祀遺構
りはとびあ(仮称)整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査		下呂町	上ヶ平遺跡	縄文・古墳時代・古代の集落跡
中央自動車道西宮線(土岐JCT)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査	日本道路公団 岐阜工事事務所	土岐市	○丸石古窯跡群	中世の古窯跡
一般国道248号可児バイパス道路改良に伴う埋蔵文化財発掘調査	岐阜県基盤整備部 可茂建設事務所	可児市	○藤田坂遺跡	弥生時代の集落跡
一般国道248号太田バイパス道路改良に伴う埋蔵文化財発掘調査		美濃加茂市	野笹遺跡	縄文~中世の集落跡
主要地方道神岡河合線道路改良に伴う埋蔵文化財発掘調査	岐阜県基盤整備部 古川建設事務所	古川町	太江遺跡・寿楽寺虎寺跡	古墳時代・古代の集落跡、古代寺院跡
県営中山間地域農村活性化総合整備事業(南吉城地区)に伴う埋蔵文化財発掘調査	飛驒地域農山村整備 事業所	国府町	○保別戸古墳	古墳

○は発掘現地調査

出土品は語る



1 三彩陶器 (古川町 寿楽寺廃寺跡)



奈良の都から飛騨へ……あざやかな三色の土器

土の中から、あざやかな緑色・褐色・白色にいろどられた土器が出てきました。奈良時代に、都(平城京)でしかつくられなかった三彩陶器(奈良三彩)です。表面にガラス質の釉薬が三色かけてあり、光が当たるとキラキラ輝く部分もあります。表面は堅いのですが、割れ口は純白で柔らかく、ていねいに扱わないと傷がついてしまいそうです。出てきた破片をならべると、半円状になり直径21cmほどもある大きめの蓋であることがわかりました。

この三彩陶器が出土したのは、吉城郡古川町太江にある寿楽寺廃寺跡で、7～9世紀ごろの遺跡です。ゆるやかな斜面を掘ってつくった平らな場所に、瓦屋根の立派なお寺が建っていました。土器に書いてあった文字から

「高家寺」と呼ばれる寺だったことがわかっています。

今も美しい三彩陶器(奈良三彩)は、飛騨国の高家寺が奈良の都と深いつながりがあったことを示しています。

2 網代 (御嵩町 顔戸南遺跡)

堤防の補強に……竹や葦で編んだ編み物

網代とは竹や葦などを使って縦・横方向に編んだ編み物です。可児郡御嵩町に位置する顔戸南遺跡では、古墳時代の自然流路の中に長さ約36mにわたって堤防がみつきり、その法面に網代が敷いてあり



堤防を守るために使われた網代

りました。網代は6枚みつきり、いずれも細い竹を潰して広げたものを1単位として編んでありました。これらは堤防内に水がしみ込み、堤防が崩れてしまうのを防ぐ役割があったと考えられます。

この網代の出土事例は極めて珍しいことから、網代6枚のうち長さ130cm、幅75cmの残りのよい1枚を保存し、出土した時に近い状態で一般の方々にみていただけるようになりました。

※P8のセンターニュースの写真もご覧ください。



縦、横に編まれたようすがわかります



1 寿楽寺廃寺跡
岩垣内遺跡 4

5 橙ノ木洞遺跡
8 佐口遺跡
南高野古墳 尾崎遺跡 7
2 顔戸南遺跡
3 今宿遺跡 6



センターでは毎年多くの遺物が土の中から見つかります。今回は昨年度の10周年特別展で初公開された遺物と、生き物をかたどった遺物を紹介します。

ワクワクドキドキ 生き物らんど

縄文時代以来、どの時代にも、土器などに生き物の姿をかたどった装飾を施すことが行われました。その表情や形をじっくりみてください。



鳥形つまみ付蓋
— 池田町 南高野古墳 —

古墳時代後期に造られた古墳の石室内から、須恵器と呼ばれる土器が出土しました。その中に翼を折りたたんだ鳥を表現したものが見つかりました。くちばしが平たいことから鴨類と思われる。



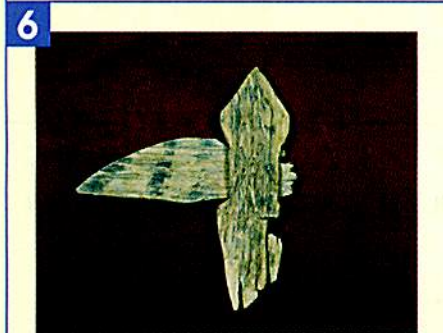
タカラガイ形の土製品
— 丹生川町 岩垣内遺跡出土 —

縄文時代中～後期にかけての大集落跡から出土しました。この貝は遠い南の海にいるものなので、飛騨にすむ山の民と海の民とが交流していたことを物語っています。本物のタカラガイ(写真右)とよくにていますね。



チョウの文様が刻まれた土器
— 関市 檜ノ木洞遺跡 —

平安時代には東海地方で、釉薬をかけた灰釉陶器と呼ばれる焼き物が盛んにつくられました。これは灰釉陶器の小さい碗です。内側の底部にチョウを素朴に表現しています。



鳥形の木製品
— 大垣市 今宿遺跡 —

弥生～古墳時代にかけての水田跡が見つかった今宿遺跡から出土しました。つばさの半分は欠けています。豊作を願ったり感謝したりするお祭りに使用されたか、村の守神とされたものと思われる。



羊形の硯
— 美濃加茂市 尾崎遺跡 —

奈良時代には文字の使用が普及したため、硯が出土することがあります。この硯は、羊の頭部をかたどった装飾が施されています。当時すでに羊は外国から日本にもたらされていました。※みのかも文化の森/市民ミュージアム常設展で展示中



鳥形の水滴
— 美濃加茂市 佐口遺跡 —

室町時代の大型の掘立柱建物跡から出土しました。水滴とは硯に水を注ぐ小型の水差しです。頭部は欠けていますが、翼を折りたたんで頭と尾を立てて水面に浮かぶ水鳥をモチーフにしていると考えられます。

飛騨地区整理の拠点 飛騨出張所

吉城郡国府町、^{ひろせじょう}広瀬城跡のふもとに、職員9名、作業員10名の飛騨出張所があります。飛騨地区で行った発掘結果を整理し、まとめる仕事をしています。立体ジグソーパズルのように土器の破片をつなげたり、0.1mmにこだわって正確な^{せいさく}図面をえがいたり、プロの技が光ります。

作業は、気をつけなければいけないことがいっぱいです。たとえば土器と石器で、また土器でも時代によって、図面のえがき方に違うところがあります。

だれでも最初からプロの技を身につけているわけではありません。より良い仕事ができるようにと、プロの技をみかく^{けんしゅう}研修を重ねています。



真剣なまなざし……図面のえがき方の研修中

より良い仕事ができるように、研修だけでなく、新しい道具をたためすこともしています。

「めがねに取り付ける拡大ルーペ」も、両手があいたまま図面をえがいたり細かい所を観察したりできるすぐれた道具です。写真

は、このルーペをめがねに取り付けて、石器の図面をえがいているところです。



めがねに取り付ける拡大ルーペ



時計の修理ではありません……観察の仕方を研修中

野村忠夫文庫を ご利用ください 三田洞本部

平成12年2月25日に当センターへ寄贈いただき、以来、整理を進めてまいりました故野村忠夫岐阜大学名誉教授旧蔵の文庫目録が完成しました。

これにより、日本古代史をはじめ、歴史学・通史・地方史・中国制度史・美術史・仏教史・図録・諸資料など広範な分野にわたる図書が利用しやすくなりました。

野村文庫の一般公開にあたって、研究目的等で閲覧を希望される方は、(財)岐阜県文化財保護センター調査部(☎058-237-8553)までお問い合わせください。

なお、図書の貸し出しやコピーは、ご遠慮いただいておりますのでご了承ください。



野村忠夫文庫目録

平成13年度タイムスリップ探検隊募集中

— 親子で古代のロマンにふれてみませんか！ —

【対象】 県内小学校5・6年生とその保護者
定員 計140名(各コース70名程度)

美濃コース

【内容】 親子発掘体験および遺跡・博物館見学など

【期日】 8月2日(木)・3日(金) 1泊2日

【場所】 重竹遺跡(関市)

岐阜県博物館

伊自良青少年の家泊(宿泊費等1人あたり2,500円程度必要)

【申し込み先】 〒502-0003 岐阜市三田洞東1-26-1

(財)岐阜県文化財保護センター

TEL 058-237-8550 FAX 058-237-8551

飛騨コース

【内容】 親子発掘体験など

【期日】 8月8日(水) 雨天順延(10日まで)

午前9時～午後4時

【場所】 上岩野遺跡(清見村)

【申し込み先】 〒509-4122 吉城郡国府町名張字峠1425-1

(財)岐阜県文化財保護センター飛騨出張所

TEL 0577-72-4784 FAX 0577-72-4690

【申込期間】

住所・氏名(応募者全員)・学年・性別・学校名・電話番号・参加希望コースを明記し、7月13日(金)までにはがき又はファックスにて、お申し込みください。

各コース別の申し込み先にお送りください。



昨年の発掘体験の様子

岐阜県新発見考古速報 2001

— 県内の発掘情報が満載！ —

【日時】 平成13年7月14日(土)
午後1時～5時

【場所】 セラトピア土岐(土岐市)

【報告】 「妻木城跡」(土岐市)

(財)土岐市埋蔵文化財センター 中嶋 茂氏

「上ヶ平遺跡」(下呂町)

(財)岐阜県文化財保護センター 八賀哲夫氏

「尾崎遺跡」(美濃加茂市)

美濃加茂市教育委員会 藤村 俊氏

【講演】 「岐阜県の中世城館」

国立歴史民俗博物館 千田嘉博助教授



昨年の考古速報

センター日誌

3月 5 中学校組合立共和中学校1年生85名 柿田遺跡・金ヶ崎遺跡見学
19 国際日本文化研究センター宇野隆夫教授 深橋前遺跡他指導
21 理事会
23 整理所作業終了
31 原専務理事他15名退任

4月 1 成戸専務理事他13名着任
4 新任者研修
17 整理所作業開始
20 全国埋蔵文化財法人連絡協議会中部北陸ブロック連絡会(岐阜県)
29 飛騨考古学会学習会8名 飛騨出張所見学

5月 1 文化財保護センター遺物常設コーナー開設(岐阜県博物館内)
15 文化庁主任文化財調査官岡村道雄氏 富田清友遺跡他指導

6月 14 理事会

あとがき

「きずな」の第31号をお届けします。今年度も県内各地で調査が始まりました。また、「お知らせ」「センターニュース」に掲載いたしました各種イベントも準備中です。

ところで、この「きずな」とおしてセンターの仕事や文化財についてご理解いただけるようにと、毎号わかりやすい内容・紙面づくりに苦心しているところです。

その中で取り扱いが難しいのが、学術用語とか業界用語など用語の問題です。今回の「クローズアップ」で紹介しました「羊形の硯」もその一つです。名称としては「羊形硯」(ようけいけん)ですが、平易な表現にしました。調査・研究へのこだわりや思い入れだけでなく、視点を変えて一方通行にならぬように努めていきたいと思ひます。

「何年前のもの?」「何に使ったの?」「どのように作ったの?」「どうしてそんなことがわかるの?」など、読んでくださる皆さんの視点に立って工夫を重ねたいと考えています。

岐阜県博物館にセンターの展示コーナーが 常設されました！

昨年度のセンター10周年の特別企画展の際には、たくさんの方々にご来場いただきありがとうございました。

当センターでは今までに100カ所を超える遺跡の発掘調査をおこなってきましたが、数多くの貴重な遺物をさらに広く公開する目的で、本年度から岐阜県博物館のご協力により、人文展示室前に展示コーナーを設けていただきました。半年ごとに展示遺物の入れ替えをおこなう予定です。

今年度前期(9月まで)は、^{かに}可^み見^み郡^み御^{たけ}嵩^{ごう}町の「^{ごう}顔^ど南^{みなみ}遺跡」から出土した遺物が展示されています。古墳時代の溝から出土した「^{あじろ}網^は代」や土師器、^{くわ}鍬や^{たげ}田^た下^げ駄などの木製品は一見の価値があります。また、常設展示室にも^{とく}旧^{やま}徳^{しやう}山^{はら}村の「^{しょう}小^{はら}原^{はら}遺跡」・「^{いづ}いづ^めめ遺跡」と^{ぐじやう}郡^{はち}上^{まん}郡^{かっ}八^さ幡^{はく}町の「^{さん}勝^さ更^{はく}白^{さん}山^{さん}神社^{さん}周^{さん}辺^{さん}遺跡」の縄文土器を新たに展示していただきました。

この週末にでもゆっくりと岐阜県博物館を訪れてみませんか。



展示コーナーを訪れた見学者



展示された「網代」

発掘速報展のご案内

平成13年度発掘速報展 ～いにしへの美濃と飛騨～を以下の要領で開催します。平成11・12年度に発掘調査をおこなった遺跡を紹介します。ご期待ください。

【期間】平成13年11月17日(土)～12月16日(日)

【場所】岐阜県博物館 関市小屋名

【講演会】平成13年11月25日(日)午後1:30～

国際日本文化研究センター教授

宇野 隆夫 先生

「古墳時代～中世の用水技術をめぐって」

岐阜県博物館ハイビジョンホールにて

